



光寿無量

年頭にあたり
御挨拶を申し上げます
今年もお念仏とともに
一日いちにちを
大切に過ごしましょう

法話

月の光のように優しく
龍谷大学教授 武田晋師

たとへば月の光

よく一切の

優鉢羅華をして開敷し

鮮明ならしむるがごとし

涅槃經

闇夜を照らす

優しい月の光は、闇夜を

照らし、そっとそばにいる

ことから、仏さまの救いに

譬えられる場合があります。

それは、親が子どもたちそ

れぞれを、平等に見守るよ

うでもあります。仏さまも

一切衆生を平等に案じて

いますが、ひとたび病の子

があれば、その子に特に心

がかかるように、罪業の重

い衆生は特に心配でなりま

せん。

お釈迦さま在世の時代に、
父王と母を殺害しようとし
た阿闍世という太子がいま
した。太子は自ら犯した罪
を深く愁い悩み、重い身と

心の病を生じました。

この時、お釈迦さまは太

子を心配し、月愛三昧と

いう禪定に入られて、大

光明を放たれます。それは

清涼で、身心に及ぶ光明で

した。『涅槃經』に、その

光明は、あたかも月の光が

青蓮華(優鉢羅華)を開

花させ、また夜道を行く人

を照らし歓喜を与えるよう

に、衆生の煩惱を除いて善

心を増上させ、迷いの世界

にあってさとりを求め

る行者に歓喜を与えるとい

われています。

阿闍世は、月のように優

しい光明によって身の病を

癒やされ、仏教に深く帰依

して心の病からも解き放た

れたのでした。

身心を柔らかかに

阿弥陀さまもまた、ひと

たび救い取ったならば、決

して離さない摂取の光明を

放たれています。ご本願の

第三十三願(触光柔軟の

願)には、その光明に触れ

た者は、身心が柔軟になる

とし、お釈迦さまもそれを
証明されています。また、
親鸞聖人は、それを信心を
獲た者の姿とされます。

では、身心柔軟とはどう

いうことでしょうか。それは、

私の外に向いては、仏さま

のような心持ちと行動とい

えるでしょうか。例えば、固

いガラスのコップ同士をぶ

つけると割れてしまいます。

しかし、片方が柔らかい物

であれば割れることがない

ように、頑な人や心を受

けとめることのできる、し

なやかな心と振る舞いです。

一方で、私の内においては、

つらい時、悲しい時、自分

の弱さまでも和らげ受けと

めていける心といえるでし

よう。

世界中どこに行っても、

変わらずにそっとそばにい

るお月さまのように、阿弥

陀さまは「そのままそのま

ま」「どんな時でも私がいる

よ」と、私の心を優しく開

いてくださるのです。

(本願寺新報 327号より)

住職より

コロナ禍が年を越し、我慢の三年目に入りました。もう少しの我慢だと思えますので、慎重に丁寧に日々を過ごしましょう。

関東大震災九十九年目

令和四年は、関東大震災(大正十二年1923年)から九十九年目、百回忌の年になります。(前住職の生誕百年にもなります)

七月の盂蘭盆会法要の時に、関東大震災百回忌法要も合わせてお勤めしたいと思えます。

親鸞聖人お誕生八五〇年立
教開宗八〇〇年をお祝いして慶賛法要が令和五年の三月から京都の西本願寺で勤まります。

芝組は、令和五年の四月十一日午後の法要に参拝することで、計画が進んでいます。団体参拝旅行の詳細が決まり次第お知らせします。

坊守より

腹話術の新しい仲間を迎えました。「たえちゃん」のお友達の「愛ちゃん」です。どうぞよろしくお願ひします。



教誓寺一年の行事

今年一年の教誓寺の行事です。元日・春・秋の彼岸会、盂蘭盆会、報恩講にはそれぞれ法要を勤修いたします。皆様お参り下さい。

- 元日 元旦会
- 三月十八〜二十四 春彼岸
- 三月二二日(春分の日) 彼岸会
- 七月一三〜一六日 お盆
- 七月十日 盂蘭盆会
- 九月二一〜二七日 秋彼岸
- 九月二三(秋分の日) 彼岸会
- 十月二三日(第4日曜) 報恩講

新年のご参詣

新しい年を迎えたら、お詣りに参りましょう。元旦会法要 一月一日

午前七時三〇分より
お寺は、準備万端整えて、元日から皆様のお参りを迎え致します。

坊守もお汁粉を拵えて、皆様に召し上がって頂くのを楽しみにしております。お子様には、お年玉のお菓子を用意しております。皆様でお参り下さい。

年回忌法要

御法事は亡き人を縁として、いま生かされている生命の尊さをおかみしめつつ、故人も我も共にすくつてくださる阿弥陀如来の智慧と慈悲に手を合わせ、その仏恩にご報謝のおつとめとして行います。

今年(令和四年)の年回忌

- 一周忌 令和三年 二〇二二年
- 三回忌 令和二年 二〇二〇年
- 七回忌 平成二八年 二〇一六年
- 十三回忌 平成二二年 二〇一〇年
- 十七回忌 平成一八年 二〇〇六年
- 二三回忌 平成一二年 二〇〇〇年
- 二七回忌 平成八年 一九九六年
- 三三回忌 平成二年 一九九〇年
- 三七回忌 昭和六一年 一九八六年
- 五十回忌 昭和四八年 一九七三年
- 七十回忌 昭和二八年 一九五三年
- 百回忌 大正十二年 一九二三年

各ご施主様宛に年回忌法要のご案内をしています。すでに繰り上げておつとめされた方にもご案内が届きますことをご容赦下さい。また、内容に誤り等があった場合は、ご遠慮なくご指摘下さい。

ご参詣の日時につきましては、お寺にご相談下さい。

浄土真宗本願寺派 圓生山 教誓寺
1081-0073
東京都港区三田 一―二―一
〇三(三四五)二三九
kyousei.ji@is4.so-net.ne.jp